

みずほCustomer Desk Report 2021/11/11 号(As of 2021/11/10)

市場營業部 為替營業第二千一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.91	1.1595	130.89	1.3559	0.7377
SYD-NY High	114.00	1.1595	131.40	1.3563	0.7393
SYD-NY Low	112.78	1.1476	130.65	1.3401	0.7324
NY 5:00 PM	113.90	1.1477	130.76	1.3402	0.7326

NY DOW	36,079.94	▲ 240.04	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	15,622.71	▲ 263.84	日本10年債	0.0600	0.00bp
S&P	4,646.71	▲ 38.54	米国2年債	0.5179	9.62bp
日経平均	29,106.78	▲ 178.68	米国5年債	1.2250	14.45bp
TOPIX	2,007.96	▲ 10.81	米国10年債	1.5690	13.06bp
ｼｺｺﾞ日経先物	29,095.00	▲ 205.00	独10年債	-0.2495	4.80bp
ロンドンFT	7,340.15	66.11	英10年債	0.9235	10.25bp
DAX	16,067.83	27.36	豪10年債	1.7500	▲3.80bp
ハンセン指数	24,996.14	183.01	USDJPY 1M Vol	6.21	0.26%
上海総合	3,492.46	▲ 14.54	USDJPY 3M Vol	6.40	0.13%
NY金	1,848.30	17.50	USDJPY 6M Vol	6.56	0.14%
WTI	81.34	▲ 2.81	USDJPY 1M 25RR	-0.14	Yen Call Over
CRB指数	234.660	▲1.93	EURJPY 3M Vol	6.73	0.20%
ドルインデックス	94.85	0.89	EURJPY 6M Vol	7.21	0.11%

東京	東京時間のドル円は112.91レベルでスタート。海外時間に米CPIを控える中で様子見ムード。日中は狭いレンジでの推移に終始し112.78-112.95での推移。そのまま112.90レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は112.90レベルでオープン。米長期金利が堅調に推移した事やユーロドル、ポンドドルが軟調に推移した事を背景にドル買い優勢。113.27レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米10月CPI結果発表を控え、中国のインフレ指標が予想を上回っていたこともあり、強めの期待からドル買いが優勢となり、113.27レベルでNYオープン。注目の米10月CPI(前月比)ヘッドラインは0.9%と予想(0.6%)を上回り、前年比では1990年11月以来のレベルまで上昇したこともあり、ドル円は113.49まで上昇する。その後は米実質金利が上がらないことが意識され、利食い売りに113.27まで下押しするが、クロス円が上昇する展開に再び113.49まで戻す。10時前になると米金利が上昇する動きにドル買いが再び強まり113.94まで上昇する。午後は、米30年債の入札結果が低調であったことから金利が上昇する展開にドル円は114.00まで上昇する。終盤に掛けては方向感の無い取引が続き、113.90レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが優勢となったことから上値の重い展開が続き1.1558レベルでNYオープン。朝方は米CPI結果を受けたドル買いに1.1532まで下落するが、ドルが売り戻される展開に1.1574まで戻す。しかしその後は米金利が上昇する展開に1.1506まで反落する。午後も強力なサポートとして意識されていた1.15を割り込むとストップを巻き込み1.1482まで下落する。終盤に掛けてもじり安で推移し1.1476まで下落し、1.1477レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：永野・小林

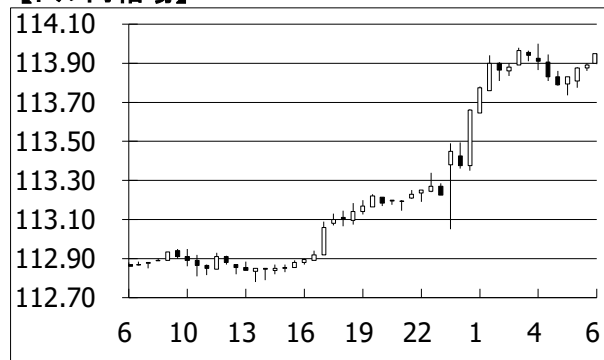
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
11月10日	08:30	豪	ウェストパック消費者信頼感指数	11月	105.3	-
	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	10月	1.5%/13.5%	1.4%/12.3%
	16:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	10月	0.5%/4.5%	0.5%/4.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	6-Nov	267k	260k
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	10月	0.9%/6.2%	0.6%/5.9%
11月11日	00:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	9月	1.4%	1.1%
	00:00	米	卸売売上高(前月比)	9月	1.1%	1.0%

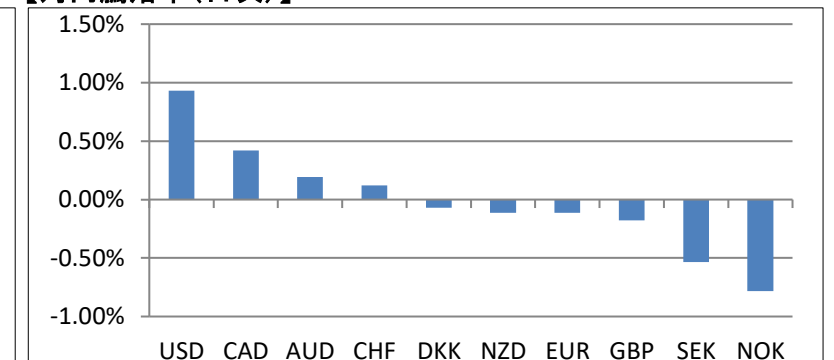
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
11月11日	09:30	豪	雇用者数変化	10月	50.0k	-138.0k
	09:30	豪	失業率	10月	4.8%	4.6%
	21:15	欧	レーンECB理事 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.50	1.1450-1.1520	130.40-131.40

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は上昇。アジア時間に発表された10月中国PPIが前年同月比+13.5%と26年ぶりの高水準となったことを背景にじりじりと上昇し、113円台を回復。米国時間に発表された10月米CPIが前年同月比+6.2%と1990年以来の高水準となったことや、30年米国債利回り入札の結果が不調になったことから、10年債利回りが急騰し、ドル/円は114円を一時付けたものの、米株が下げを強めたことから上値が重くなり、113円台後半で推移した。

本日のドル/円は上値重い推移を予想。強い米CPI上昇の主要因はエネルギー、輸送の他、中古車価格の上昇と、FRBや市場が一時的なものとみなすカテゴリーによる上昇であり、一時的なインフレを否定する材料とはならず、また本日は米国休日で方向感が出にくい中、上値が重い展開になると考える。